

「津波の前 必ず引き潮」

呪い悲劇

5月1日 河北新報朝刊



岩手・大槌 死者不明者1600人

「津波が来る前には必ず潮が引く」。過去に津波を経験した三陸沿岸の住民の多くは、そう信じていた。岩手県大槌町では東日本大震災で、引き潮がなかつたように見えたため、潮が引いてから逃げようとした住民を急襲した津波がのみ込んだという。津波の前兆を信じていたことが、1600人を超える死者・行方不明者を出した惨劇の一因にもなった。

3月11日午後3時すぎ、いう。JR山田線の高架橋に一瞬、言葉を失つた。「津

大槌町中心部の高台に逃げに避難した勝山敏広さん

た住民は、不可解な海の様(50)は「避難先の高台から警報は出されていたが、海声が届く範囲に住む住民が

子に首をかしけた。大津波

警報は出されていたが、海

面は港の岸壁と同じ高さの

まま、潮が動く気配がなか

った。

「潮が引かない。本当に

津波が来るのか」。そんな

声が出始めた。

大槌町中心部は、大槌川

と小鎌川に挟まれた平地に

広がる。津波の通り道となる二つの川の間に開けた町の海拔は10m以下。津波には弱い一方で、山が近くに迫り、すぐ避難できる高台は多い。

高台にいた住民らの話では、海面に変化が見えない状態は20分前後、続いたと

いう。JR山田線の高架橋に一瞬、言葉を失つた。「津

大槌町中心部の高台に逃げに避難した勝山敏広さん

た住民は、不可解な海の様(50)は「避難先の高台から警報は出されていたが、海声が届く範囲に住む住民が

子に首をかしけた。大津波

警報は出されていたが、海

面は港の岸壁と同じ高さの

まま、潮が動く気配がなか

った。

「潮が引かない。本当に

津波が来るのか」。そんな

声が出始めた。

を覆つた。少し遅れて、港中央部の海側から入つた津波が防潮堤を破壊し、なだれ込んだ。

町中心部の銀行の屋上か

ら目撃した鈴木正人さん

(73)は「2本の川と海の3

方向から入つた津波が鉄砲

水のようになつて住民と家

屋をのみ込んだ。やがて合

津波が来たのかと、海を恨

みだ。自宅に戻った人を呼

び戻す機会がなかつた。引

き潮があれば、多くの人が

東北大大学院災害制御研

究センターの今村文彦教授

は「引き潮がない津波もあ

る。津波の前に必ず潮が引

が体験したりして誤信が定

着していた」と指摘。

岩手県によると、津波は大

きく引いたことから、大

槌湾でも実際は潮が引いて

いた可能性が高いと分析

し、「湾の水深や形状から

潮の引きが小さくなつた

ことに加え、港の地盤が

地震で沈下し、潮が引い

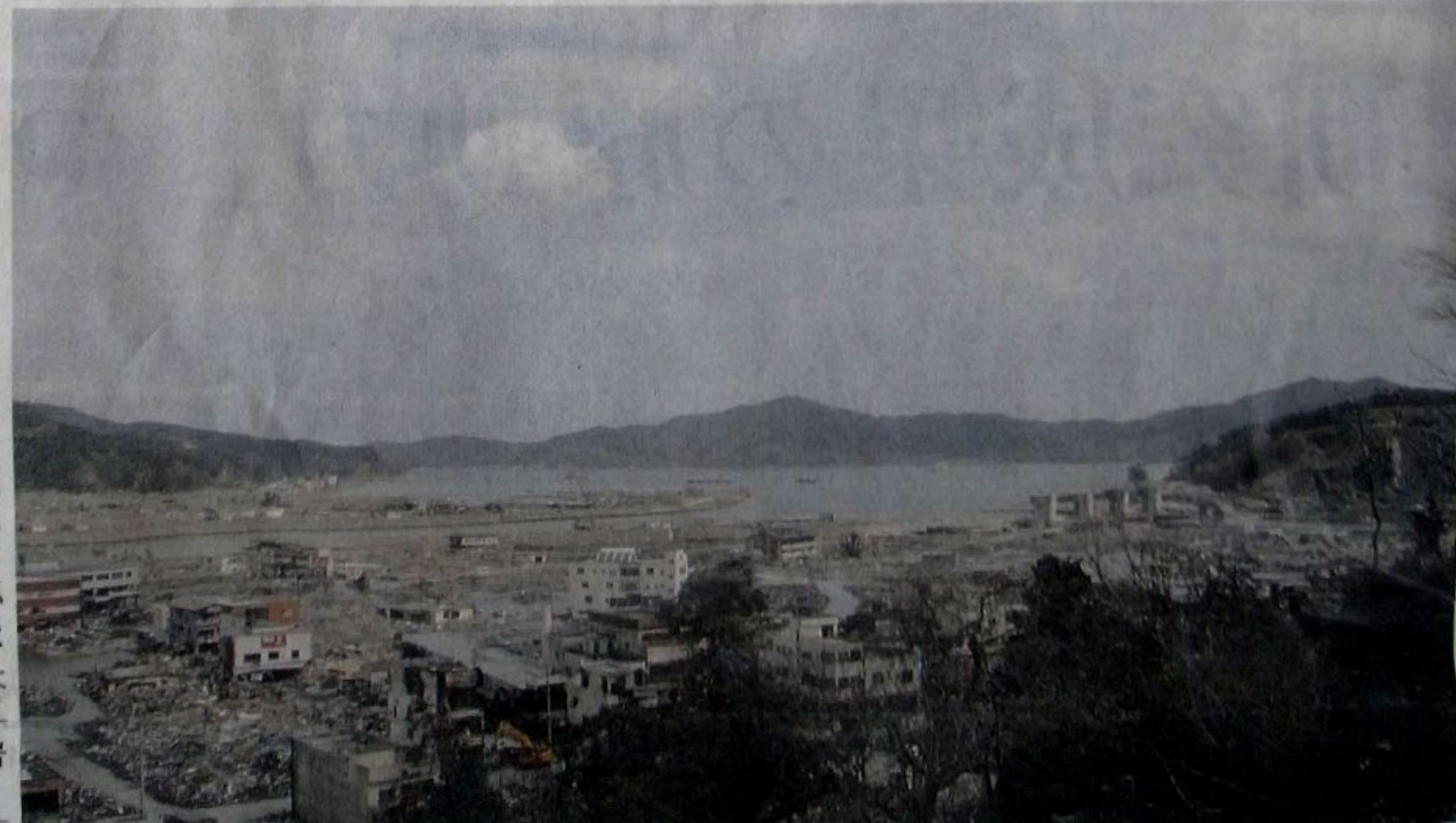
たようには見えにくかつ

たのではないか」と推測し

ている。

（中村洋介、遠藤正秀）

濁流3方から一気



津波で壊滅的な被害を受けた岩手県大槌町中心部=4月下旬